

環境調査結果のお知らせ

令和元年12月17日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は16.0~18.2℃で、前回調査時(R1.11.29)と比較して全層で1.8~2.3℃下降しました。塩分は29.0~32.6で、前回調査時と比較して表層から1m層で0.5~0.9下降し、底層で0.7上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.3~7.5mg/lで、前回調査時と比較して表層及び2m層で0.4~0.6mg/l上昇し、1m層で0.7mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は3.2mでした。
検鏡の結果、有毒・有害種は確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.11.29)	
			差(今回-前回)
0m	16.0	18.0	▲ 2.0
1m	16.0	17.8	▲ 1.8
2m	17.4	19.7	▲ 2.3
B-1	18.2	20.1	▲ 1.9

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.11.29)	
			差(今回-前回)
0m	29.0	29.9	▲ 0.9
1m	29.6	30.1	▲ 0.5
2m	31.3	31.3	0.0
B-1	32.6	31.9	0.7

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.11.29)	
			差(今回-前回)
0m	7.5	7.1	0.4
1m	6.2	6.9	▲ 0.7
2m	6.0	5.4	0.6
B-1	5.3	5.3	0.0

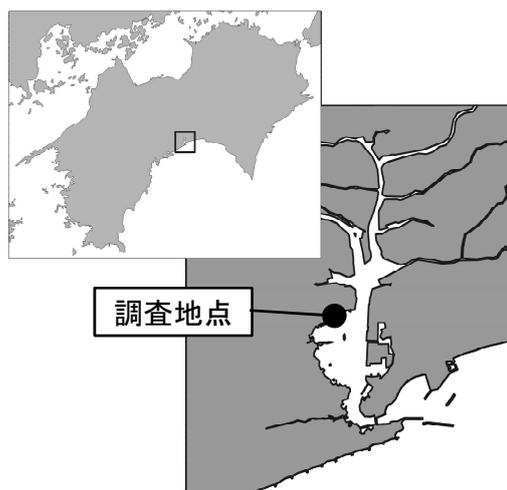


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	3.8
透明度	3.2	1.9

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類	漁業被害が想定される細胞密度 ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)
0	3,500	0	0	0	
1	3,700	0	0	2	
2	2,200	0	0	10	

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>